

令和7年度 水道事業・工業用水道事業会計 決算見込（速報版）の概要について

1 経営収支概要

（１）水道事業会計

家庭用や旅館業等の使用水量の増加に伴い経常収益が増加したものの、修繕費等の経費が増加したことなどから、経常損益（90.8 億円の黒字）は、前年度に比べ 16.1 億円の収支悪化となる見込みです。また、当年度損益（111.8 億円の黒字）については、土地売却による特別利益があったことから、前年度に比べ 5.0 億円の収支改善となる見込みです。

（２）工業用水道事業会計

配水施設受託工事収益が増加したことなどから、経常損益（0.5 億円の黒字）は、前年度に比べ 0.3 億円の収支改善となる見込みです。また、当年度損益（63.7 億円の黒字）についても、土地売却収益が増加したことなどから、前年度に比べ 64.0 億円の収支改善となる見込みです。

2 資金不足比率について

令和7年度決算においては、水道事業会計、工業用水道事業会計ともに、資金不足が生じる見込みはありません。

（注）「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行に伴い、公営企業会計については、会計ごとに資金不足比率を算定することとされ、平成20年度決算から、資金不足比率が経営健全化基準（20パーセント）以上となる場合は、経営健全化計画の策定が義務付けられました。

3 経営収支

【水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和7年度 決算見込	令和6年度 決算	差 引	増減率 (パーセント)
経 常 収 益	65,262	64,134	1,128	1.8
うち給水収益(注)	55,173	58,506	△3,333	△5.7
うち料金減額相当額繰入	4,428	0	4,428	皆増
うち受託工事収益	136	201	△66	△32.6
経 常 費 用	56,184	53,449	2,735	5.1
うち人件費	11,408	11,034	375	3.4
うち物件費	23,775	21,226	2,548	12.0
うち減価償却費	17,948	17,446	502	2.9
うち支払利息	1,123	1,246	△123	△9.9
経 常 損 益	9,078	10,686	△1,608	
特 別 利 益	2,107	0	2,107	皆増
特 別 損 失	0	0	0	—
当 年 度 損 益	11,185	10,686	499	
累積剰余金(△累積欠損金)	18,991	0	18,991	
資金不足比率	—	—		
企業債残高	87,709	88,916	△1,207	△1.4

(注)生活支援の施策にかかる減額分(一般会計より補填)を加えた令和7年度決算見込の実質給水収益は59,601百万円。(差引 1,096百万円)

【工業用水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和7年度 決算見込	令和6年度 決算	差 引	増減率 (パーセント)
経 常 収 益	514	477	37	7.7
うち受託工事収益	33	1	32	著増
うち繰延運営権対価収益	50	50	0	0.0
うち運営権者更新投資収益	2	3	△1	△19.3
うち運営権設定関連収益	268	276	△7	△2.7
経 常 費 用	465	457	8	1.7
うち物件費	2	6	△4	著減
うち減価償却費	395	406	△11	△2.8
うち支払利息	1	2	△1	△45.3
経 常 損 益	49	20	29	
特 別 利 益	6,333	9	6,325	著増
特 別 損 失	11	58	△47	著減
当 年 度 損 益	6,372	△29	6,401	
累積剰余金(△累積欠損金)	6,748	345	6,403	
資金不足比率	—	—		
企業債残高	28	59	△31	△52.5